

「南相馬市新庁舎建設事業について」
令和11年の開庁を目指し、実施設計を進めています

1 “『交流・協働・共生の場』新たなコミュニケーションを促す新庁舎”を目指す4つのコンセプト

- 01 ワンフロアで完結する市民利便性が高い庁舎
- 02 防災対策を強化した庁舎
- 03 市民と行政のコミュニティの場が広がる庁舎
- 04 自然と共生する省エネ庁舎

建 物 概 要

- ・計画敷地：原町区三島町二丁目地内
- ・構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て（免震構造）
- ・延床面積：庁舎棟 9,048 m² + 車庫棟 200 m²

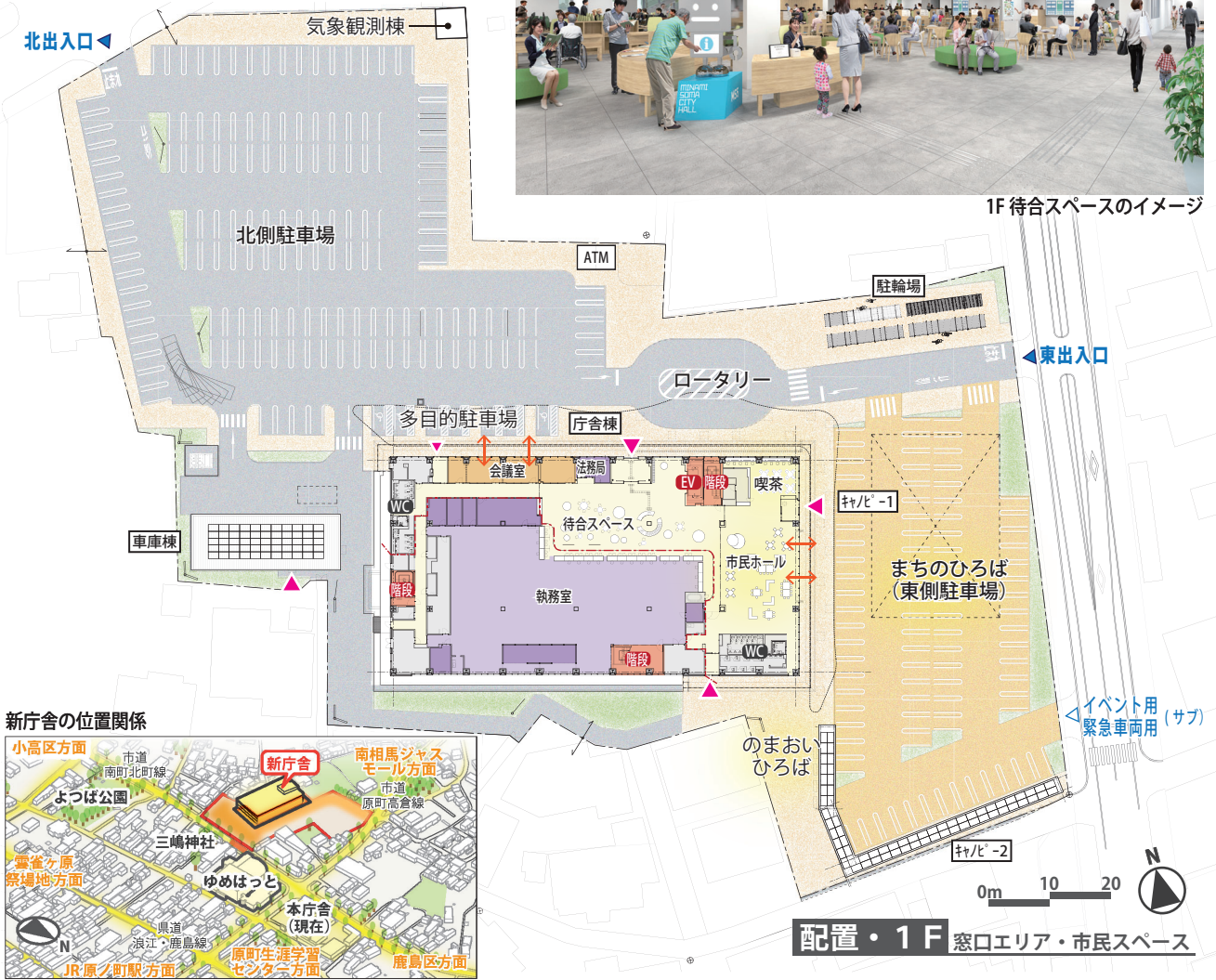


まちのひろばからみる新庁舎のイメージ

2 利便性とコミュニケーション効果を高める新庁舎配置計画

敷地利用計画

- ・新庁舎は、東・北市道の両方向からアクセスが可能な利便性が高い配置計画です。
- ・駐車しやすく、イベントや災害時には多彩な使い方が可能です



1F 待合スペースのイメージ

3 市民利用を第一に考えた階構成・平面計画

- 凡例
- ：共用エリア
- ：執務室エリア
- ：議会エリア
- ：会議・打合せエリア
- EV：エレベーター
- 階段：階段
- WC：トイレ
- 建物出入口
- セキュリティライン

災害対策本部室（庁議室＋会議室）
災害時の迅速な対応が可能な計画



4 設計時点での事業費の状況について

新庁舎建設事業費は、エネルギー資源や建築資材、人件費の高騰に対応しつつ、品質と設備機能を維持しながら建物構造を簡素化して費用を抑え、基本設計段階で想定していた物価上昇を含めた最大 97 億円内に収めることで進めています。

財源は合併特例債 46 億円、庁舎建設基金 32 億円、交付税措置の対象となる新たな起債 18 億円、国庫補助金 1 億円の合計 97 億円を確保しています。

市場動向はなお予断を許しません、庁舎建設基金は現在も積み増しを行っており、物価変動に伴う財政負担にも対応できる準備を進めています。

5 今後のスケジュールについて（予定）

今回の設計内容を基に、令和 11 年度の新庁舎開庁に向け、工事発注や工事契約の議決など必要な手続きを行い、市民の皆さまにとって使いやすい庁舎を目指して、事業を進めてまいります。



※本資料は抜粋になります。市役所（公有財産管理課）、各区役所（市民総合サービス課）、中央図書館、各生涯学習センターに詳しい資料を準備しています。また、ホームページでも閲覧できます。

問合せ先 総務部公有財産管理課新庁舎建設推進係 0244-24-5405